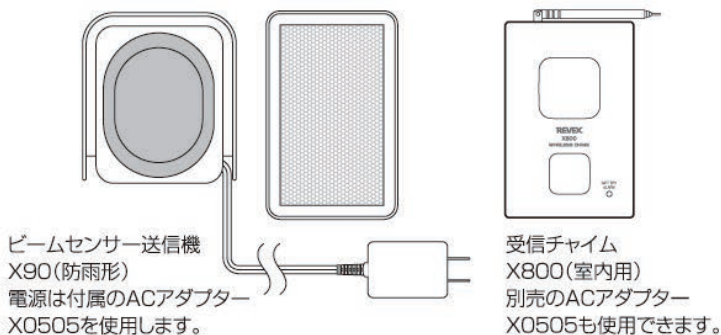


ビームセンサーチャイムセット

X890は、X90とX800のセット品の品番です。

取扱説明書

[ビームセンサー送信機X90単体説明書兼用]



ビームセンサー送信機
X90 (防雨形)
電源は付属のACアダプター
X0505を使用します。

受信チャイム
X800 (室内用)
別売のACアダプター
X0505も使用できます。

1. 概要

このビームセンサーチャイムセットは、配線不要・設置が簡単で、どこにでも使用できるワイヤレスチャイムです。対象物が赤外線ビームを遮ると電波を出し、受信機がチャイム音とフラッシュでお知らせします。来客感知、侵入者感知、危険箇所への侵入防止、動物などの侵入感知、車両の出入り感知、物品の盗難防止、車両やバイク、自転車の盗難防止、ベッドからの離床感知、徘徊者の外出感知などに最適です。店舗や事業所の来客、退出者に対する声掛けに、一般家庭での防犯に、侵入禁止現場での警告に、貴重品や大切な物品のある店舗や倉庫に、介護に。様々な用途で使用できます。

(ご注意)

- ①ビームセンサー送信機は防雨形ですので屋外で使用できますが、電源がとれる場所の近くに設置する必要があります。
- ②ビームセンサーの真向かい側の水平方向同一レベル位置に反射板を設置して、赤外線ビームをビームセンサーが安定して受信する必要があります。
- ③ビームセンサー送信機本体と反射板との対向距離は最大8m程度までです。

2. ビームセンサーチャイムセットの構成

お買い求めいただいたX890はビームセンサー送信機と受信チャイムからなるワイヤレスチャイムです。

■ビームセンサー送信機 (X90)

向かい合わせに設置したビームセンサー本体と反射板の間を物体が通過すると電波を出します。また、ビームセンサー本体からも音を鳴らすことができます。音は、16種類のチャイム、メロディ、鳥や犬の鳴き声、アラーム音、サイレン音から選ぶことができ、好みの音量に設定できます。防雨構造 (IPX4) ですから雨のかかる屋外に設置できます。

電源は付属のACアダプター (型番X0505) をご使用ください。

■受信チャイム (X800)

ビームセンサー送信機からの電波を受けると、16種類の音から選んだチャイム音、メロディ音、サイレン音などが鳴り、ブルー光が点滅します。この受信機は防水構造ではありませんので、室内でご使用ください。

電源は単3形アルカリ電池のほか、別売のACアダプター (X0505) でも使用できます。

3. この商品の特徴

- 配線不要。ビームセンサー送信機は防雨形ですから屋外に設置可能。ビームセンサー送信機本体でも音を鳴らして確認や威嚇ができるほか、受信機を屋内に置いておくと動作確認ができます。
- ID方式の電波を使用。混信や妨害のない技術基準認証電波 (特定小電力電波) を使用していますから、離れた場所でも確実に受信して、動作したことを知らせます。
- 侵入者を感知すると音を鳴らすこともできますから、防犯や警告に使用する場合は、その場で侵入者に警告できます。同時に室内に知らせますから安心です。
- サイレンや犬の鳴き声などを鳴らすこともできますから、侵入者に対する威嚇効果も絶大です。
- 動物への威嚇、車の出入りの警告などに使用することもできます。また、車やバイク、自転車などの盗難防止用に使用できます。
- 0.5m~8mまでの開口部で対向面に反射板が設置できる場所であれば、どこにでもビームセンサーを設置できます (ACアダプター電源用コンセントが近くに必要です)。
- ビームセンサー送信機は対向面に垂直面があれば、両面テープか木ネジを使用して取り付けられます。
- ビームセンサー送信機側の選曲ボタンを押して受信機のチャイム音を選べます。
- Xシリーズのすべての送受信機を増設可能です。

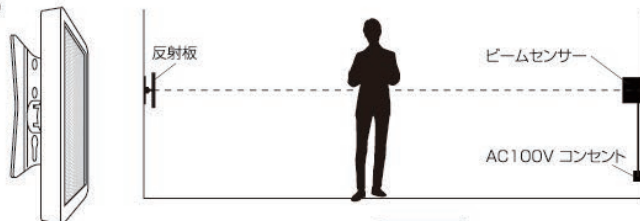
4. ビームセンサー送信機 X90の外観説明

ビームセンサー送信機は以下の構成となっております。監視対象 (人、車、動物など) がビームセンサー本体と反射板の間を横切る位置に設置します。

①反射板

ビームセンサーから出力した赤外線ビームを反射する反射板です。この反射板はビームセンサー送信機の対向面に同一の地上高で対向するように設置します (図1)。設置方法は後述取付手順の説明をご覧ください。

(図1)

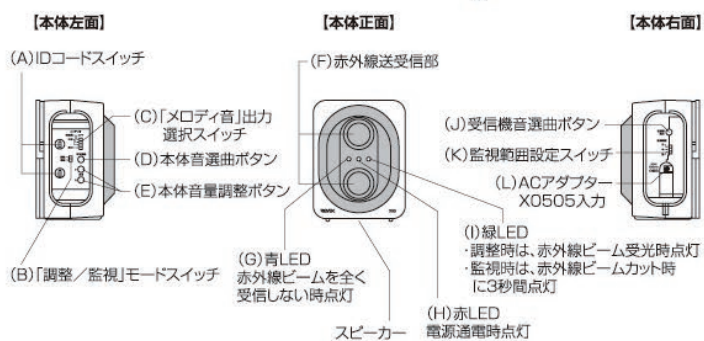


②ビームセンサー送信機本体の構成

ビームセンサー送信機は5つのパーツで構成しています。(図2)

- (1) 防滴カバー
- (2) 本体
- (3) 右側蓋
- (4) 左側蓋
- (5) 取付プレート

③ビームセンサー送信機本体の説明



5. ビームセンサー送信機の機能説明

【1】左面

(A)「IDコード・スイッチ」

ビームセンサー送信機から出る送信電波のIDコードをセットするスイッチです。下側がアルファベット、上側が数字で、送信電波と受信器のID番号が一致した時に受信機が受信し、チャイムが鳴ります。工場出荷時はP・16になっています。そのまま使用することもできますが、ご近所のXシリーズの電波で混信することがありますので、できるだけ、P・16以外の記号・番号に変更してご使用ください。

(B)「調整/監視」モードスイッチ

「調整」モード側は、ビームセンサーの赤外線送受信を安定して受光するように調整するときに使用します。赤外線ビームを受光しているときは緑色LEDが点灯します。

「監視」側は調整が終了して、実際に監視するときに使用します。「監視」モード中にビームセンサー送信機と反射板の間を人や動物、車が通過すると、本体の緑色LEDが3秒間点灯し、本体がチャイム音を鳴らします。同時に受信機X800のチャイムになります (ビームセンサー送信機と同一のID番号にセットしてください)。

(C)「メロディ音」出力選択スイッチ

- ・OFF: ビームセンサー本体の電源が切れます。
- ・受信機: 受信機側だけ、メロディ音流れます。
- ・本体: ビームセンサー本体だけ、メロディ音流れます。
- ・両方: ビームセンサー本体と受信機の両方でメロディ音流れます。

(D)「本体音選曲」ボタン

本体から流れるメロディ音の選曲ボタンです。メロディ音が終わったらこのボタンを押すと次の曲が流れます。気に入った曲が流れたら、ボタンを押すのをやめます。使用中はビームセンサーが感知すると、やめた時に流れた曲が流れます。

(E)「本体音量調整」ボタン

ビームセンサー本体から流れる曲の音量を調整するボタンです。「大」又は「小」を1回押すごとに音量を「上げる」又は「下げる」ことができます。

[2]正面

(F)「赤外線送受信部」

上下の2つの丸い部分は赤外線の入出力窓です。正面カバーに埃や汚れが付かないよう管理してください。

(G)「青」LED

調整時に赤外線ビームを全く受信しないときに点灯します。

(H)「赤」LED

電源通電時に点灯します。

(I)「緑」LED

調整時は、赤外線ビーム受光時点灯。

監視時は、赤外線ビームカット時に3秒間点灯

[3]右面

(J)「受信機音選曲」ボタン

受信機のメロディ音を選曲するボタンです。(D)「本体音選曲」ボタンと同様な操作をしてください。

(K)「監視範囲」設定スイッチ

ビームセンサーの監視範囲を設定するスイッチです。ビームセンサーと反射板の間の距離に合わせて、このスイッチを設定してください。

「近」:比較的短い距離を監視するときに使用します。0.5m~3m程度の距離に適しています。

「中」:中距離の監視範囲のときに使用します。1m~5m程度の距離に適しています。

「遠」:8mまでの遠距離の監視に適しています。2m~8m程度の距離に適しています。

(L)「電源入力」

付属のACアダプターX0505の入力端子です。DC5V, 500mA, センター+です。純正品X0505以外のACアダプターは使用しないでください。ACアダプターは防水ではありませんので設置時に防水処理が必要です。

③本体右面の「監視範囲」設定スイッチを「中」にします。1m~5m程度の監視距離に適しています。「近」は0.3m~3m程度の距離、「遠」では2m~8m程度の距離での監視範囲に適しています。

④本体左面の「調整/監視」スイッチを「調整」モードにします。

⑤「調整」するには、ビームセンサー送信機本体と反射板を水平と垂直が一致して、真正面に向かい合うように設置する必要があります。反射板は自由に角度調整ができるようになっていますので、そっと、ゆっくりと反射板を動かして調整してください。

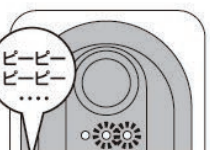
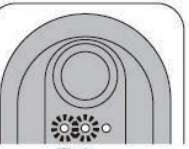
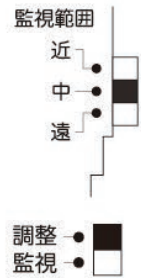
⑥ビームセンサー本体の正面の青LEDが点灯しているときはビームが外れています。

⑦正面の緑LEDが点灯して「ピーピーピー……」音が安定して聞こえれば、赤外線ビームを確実に受光しています。実際に使用する際は、この状態に、本体と反射板を固定してください。

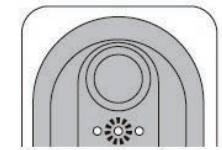
⑧緑LEDが点灯しているときに、「調整/監視」モードスイッチを「監視」に切り替えます。

⑨「監視」モードで、本体と反射板の間を人や動物、車などが通過して赤外線ビームをカットすると、緑色LEDが3秒間点灯して、本体から音が流れます。

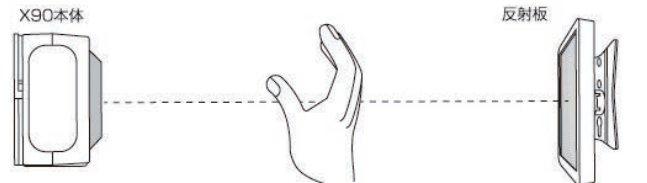
⑩本体の音を鳴らしたくないときは、本体右面の「メロディ音」スイッチを「受信機」に切り替えます。送信機と受信機のIDが同じ記号と番号にセットされていれば、受信機からメロディ音が鳴ります。



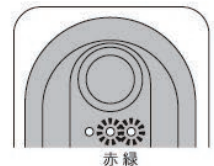
緑LEDが点滅しピーピー音がしている時に切替える



監視中は赤のみ点灯している



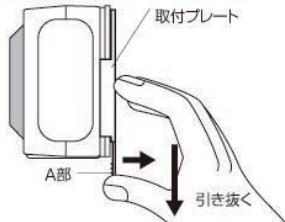
ビーム光をカットすると緑が3秒間点灯して消え、本体からチャイム音が鳴る



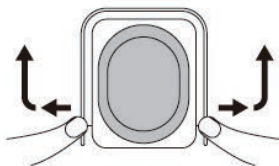
6. ビームセンサー送信機の使用法(設置前事前設定)

●開封後室内で、取り付ける前に、必ず下記の動作確認をしてください。

取付プレートを本体から外します。
A部を押しつけながら、本体を引き抜きます。

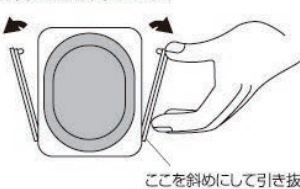


防滴カバーを外します。



両手の指で左右に引っ張りながら、上へカバーを上げる

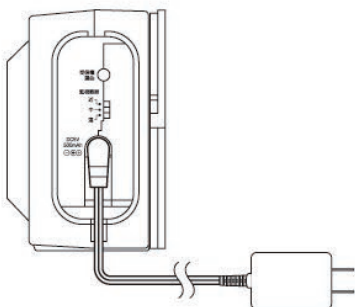
左右の蓋を外します。



ここを斜めにして引き抜く

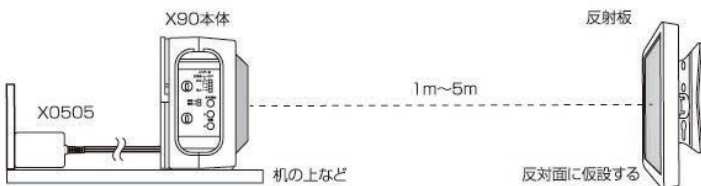
電源を接続します。

室内でビームセンサー送信機の動作を確認してから、実際の設置場所に取り付けてください。
付属のACアダプターX0505をACアダプター入力端子に差し込み、AC100Vコンセントにプラグインします。

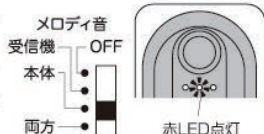


室内でビームセンサーの動作確認をします。

①ビームセンサー本体の正面に反射板を向かい合わせに仮設します。



②本体左面の「メロディ音」スイッチを「本体」にします。正面中央の赤LEDが点灯します。赤LEDは電源がONになっているときは点灯し続けます。「本体」モードのときはビームセンサー本体で音を鳴らすことができます。



安全上のご注意 使用前によくお読みいただき、正しくご使用ください。

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

■ACアダプター使用時: 付属のACアダプター(X0505)使用時は電源電圧がAC100V以外の電圧では使用しない。他の電源電圧で使用すると、動作しない、故障、感電、あるいは、発熱による火災を起こす可能性がありますので、AC100Vコンセント以外には絶対に接続しないでください。

■ACアダプターの使い方を誤ると火災、感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

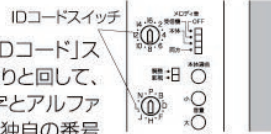
- 濡れた手でACアダプターに触れない。
- プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。差込が緩く本体が前に傾くようなコンセントにはプラグインしないでください。
- 2本のプラグの電極周辺部分に埃が溜まらないように、コンセントから抜いて、ACアダプターのプラグとコンセント表面を年1回以上清掃する。清掃をしないとプラグ間でショートし、トラッキングによる火災を起こす可能性があります。

7. 送信機X90と受信機X800のIDコード設定と選曲方法について

1) IDコードの設定

■送信機のIDコード設定

ビームセンサー送信機X90本体左面の(A)「IDコード」スイッチを付属の黒いマイナスドライバーでゆっくりと回して、矢印の頭の方向を初期設定(P-16)以外の数字とアルファベットにセットします。(IDコードの設定)。お客様独自の番号に設定してください。



■受信機のIDコード設定

受信機のIDコードスイッチは、本体裏面の電池蓋を外すと、電池ケース底にあります。送信機のIDコードを覚えておき、受信機のIDコードを送信機と同一のIDコードに設定してください。送信機のIDコードが受信機と同じ場合にのみ、受信機が受信します。



【ご注意】

初期設定のIDコード(P-16)のまま使用すると、ご近所のXシリーズ電波に混信し、センサーが動作していないのに、チャイム音が鳴ります。これは同一のID使用による混信のためです。混信を避けるためには、必ずお客様独自のIDコードに設定してください。

2) 受信機X800に電池を入れて、待ち受け状態にする。

■受信機に電池を入れる。

ご用意いただいた新品の単3形アルカリ電池×3本を、受信機に入れます。極性を確認しながら正しく入れてください。電池蓋を上スライドして装着してください。

■受信機左面のスイッチを「音と光」に切り替えます。

■右面の「音量」ボタン「大」又は「小」を押して、音と光が動作することを確認します。

3) ビームセンサー送信機X90本体音の設定

ビームセンサー本体左面の(C)「メロディ音」出力選択スイッチで音を鳴らす機能を選びます。

- ・「OFF」 電源OFF
- ・「受信機」 受信機から音を鳴らす。
- ・「本体」 本体から音を鳴らす。
- ・「両方」 受信機も本体も音を鳴らす。



4) 本体音選曲ボタン(D)

本体音の設定が「本体」又は「両方」のときに、本体から音が鳴ります。本体音の選曲はすぐ右の「本体選曲」ボタン(D)を押して曲を選びます。チャイムや曲が鳴り終わった後に、選曲ボタンを押せば、曲を切り替えることができます。好みのチャイムや曲、ブザーやサイレンが流れたら、選曲をやめれば、最後の選曲音が監視時に流れます。

5) 受信機音選曲ボタン(J)

このボタンを押すと受信機音を選曲できます。チャイム・メロディ・アラーム音の順番と種類は本体選曲音と同一です。

6) チャイム音(メロディ音)の選曲について。

- ① 選曲ボタンを押すと曲が一つ進みます。曲が終わったら、次の曲を選曲して下さい。
- ② 本体でモニターしながら、好みの曲が聞こえたら、選曲を停止してください。番号の順に曲が鳴ります。
- ③ チャイム音の種類は、下記の順です。
 1. ピンポン ピンポン(チャイム音)
 2. ピンポン パンポン(チャイム音)
 3. エリーゼのために
 4. チャイルドフッド
 5. リメンバード
 6. グリーンスリーブス(イングランド民謡)
 7. おおスザンナ
 8. バスカー
 9. 愛のオルゴール
 10. ホームスイートホーム
 11. ジングルベル
 12. ハッピーバースデー
 13. 小鳥の鳴き声
 14. 犬の鳴き声
 15. ブザー音
 16. サイレン音(30秒間)
- ④ 途中で中止して1.「ピンポン」音に戻したいときは、選曲ボタンを10秒間押し続けます。「ピンポン」音が聞こえたら、1.から選曲をやり直します。

8. ご使用上の注意

1) ビームセンサー送信機X90は、防雨カバー、右側蓋、左側蓋をきちんと装着し、取付プレートを垂直面に取付けて使用した時のみ、防雨構造となります。また、ACアダプターは防水ではありませんので、水が溜まる場所には設置しないでください。防水ケースなどに入れて使用してください。

2) 取付時や取り付け後に床面に落下させますと危険ですし、破損する恐れがあります。テープや取り付けネジでの設置にあたり、本器を落下させないようにご注意ください。屋外設置の場合は、風雨にあおられて落下しないようしっかりと固定してください。

3) 高温の場所や振動の激しい場所、直射日光が当たる場所では使用しないでください。故障や連続的に誤動作する可能性が高くなります。

4) ビームセンサーの出力レベル調整はできません。

5) 外部電源について。

受信チャイム(X800)は電池使用のほか、別売の専用外部電源(Xシリーズ ACアダプター品番X0505)を使用することができます。上記以外のACアダプターは使用しないでください。発熱、故障の原因となります。また、電池とACアダプターの併用はしないでください。電池を入れたままにしていると、液漏れによる故障の原因となります。

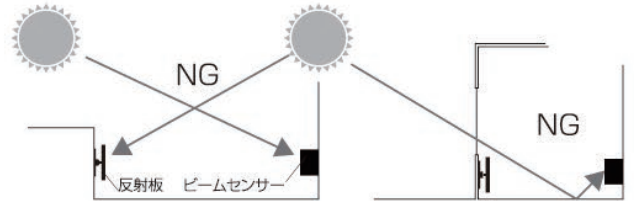
9. 重要なお知らせ

- この商品は警告、報知用であり、生命救助、事故防止、犯罪防止等を目的とする機器ではありません。死亡・障害・強盗・盗難・犯罪などの被害における責任は負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品は総務省の許可なしに改造して使用すると、電波法により罰せられます。
- 心臓ペースメーカーや特殊な医療機器に対する影響はほとんどありませんが、念のため安全管理上、送信機を対象物から50cm以上離してご使用ください。

10. ビームセンサー送信機X90の設置方法

1) 設置場所の選定

■設置にあたり、X90の送受光レンズに太陽光が直接当たらない場所を選んで設置してください。また、朝日や夕日が床面等に反射して送受光レンズに当たる場合も誤動作しますので、ご注意ください。

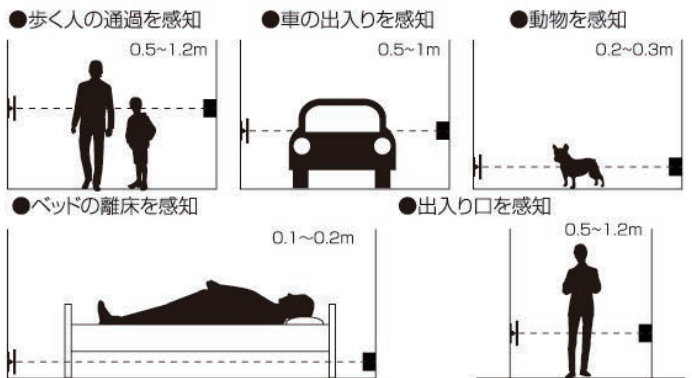


- 草や木の枝、葉などが揺れてビームを横切る場所には設置しないでください。
- 監視対象物が確実に横切る高さを選んで設置してください。



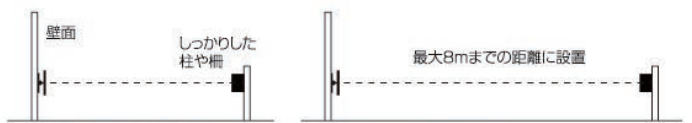
- 監視対象物以外のものが横切る場所には、設置しないでください。

■設置高さの例



2) 設置場所の選択

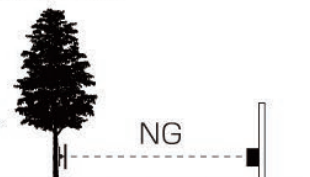
- 両側に垂直な壁面や柱がある場所を選ぶ。
- 感知距離は8mまで。



- 間隔が広いと調整が難しいので、できるだけ間隔を絞る。



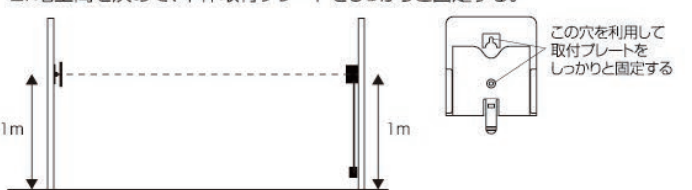
- 安定していない設置面には取り付けない。



3) 取付手順

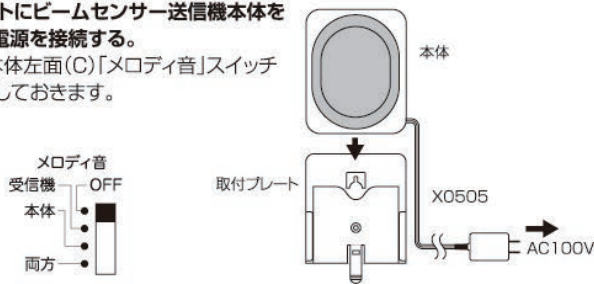
- 【ご注意】必ず「設置前事前設定」を終了してから、取り付け作業を開始してください。

1. 電源(AC100V)がとれる場所を選ぶ。
2. 地上高を決めて、本体取付プレートをしっかりと固定する。



3. 取付プレートにビームセンサー送信機本体を差し込み、電源を接続する。

- この時、本体左面(C)「メロディ音」スイッチをOFFにしておきます。



4. 反対側の壁面の同じ高さの対向面に目印をつけ、反射板の取付プレートを取り付ける。

- 取付プレートを反射板から外しておく。
- 取付プレートを壁面に固定する



- 反射板を取付プレートに差し込む。
- 反射板を正面に向ける。



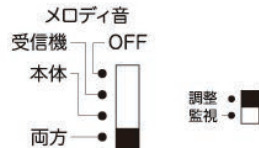
5. 監視距離に合わせて「監視範囲」設定スイッチ(K)の感度を設定する。

- 0.5~3m程度：近
- 1~5m程度：中
- 2~8m程度：遠



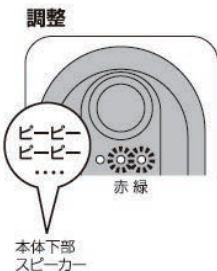
6. 音を鳴らしたい機器を選ぶ。

- (C)「メロディ音」スイッチを選びます。
- 受信機だけ音を出す：受信機
- 本体だけ音を出す：本体
- 両方とも音を出す：両方

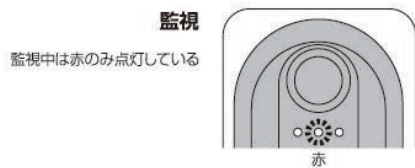


7. (B)「調整/監視」モードスイッチを「調整」モードにします。

- 緑色LEDが点灯して、ピーピーピーピー……音が聞こえるように、反射板の向きを微調整します。
- うまく設定できない場合は、取付位置「水平と垂直」があっていない可能性があります。もう一度高さや対向面を確認して、微調整してください。
- 監視距離の設定スイッチを、「遠」にすると多少ズレていてもうまく受信することもあります。



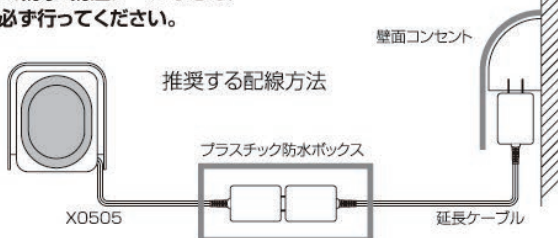
8. 緑色LED点灯+ピーピーピーピー……音に調整できたら、「調整/監視」モードスイッチを「監視」に切り替えます。



9. 最後に、右蓋、左蓋、防滴カバーをきちんと装着します。

10. 電源部の防水処理を完全に行ってください。

- ACアダプターは防水形ではありません。
- 防水ボックス、防水・防湿テープなどで、防水処理を必ず行ってください。



11. 増設について

X890は、セットで使用するだけでなく、別売のXシリーズ全ての単品送信機や受信機を増設することができます。異なる音を鳴らす場合は16個まで、同一の音の場合は無限に送信機の増設が可能です(電波の届く範囲でご使用いただけます)。また、一つの送信機に対して複数の受信機をほぼ同時に鳴らすこともできます。

■増設できる送信機

受信機X800に対してXシリーズすべての送信機を複数個増設できます。

- ①押しボタン送信機 X10, X10D, X10R
- ②ドア窓送信機 X30
- ③人感送信機 X50, X80SL, X55
- ④音センサー送信機 X70
- ⑤ビームセンサー送信機 X90

■増設できる受信機

送信機X90に対してXシリーズすべての受信機を増設できます。

- ①Xシリーズ受信機 X800, X1800, X100, XL3000, X300
- ②XシリーズPREMIUM受信機 X200, X900
- ③Xシリーズ中継器 X2000

■増設方法

- 送信機、受信機を増設する場合、すべての送受信機のIDコードを同一のIDコードに設定してください。
- 送信機毎に受信音を変えたい場合は、送信機の選曲ボタンを押して、曲を選んで使用します。

■増設時のご注意

- ①複数の送信機を使用する場合、受信中の音と光が止まるまでは、次に動作した送信機の電波を受信することはできません。
- ②複数の送信機が同時に動作した場合は、電波干渉により受信機が動作しない場合があります。
- ③複数の受信機を至近距離に並べて使用する場合は、電波干渉により受信しないこともあります。

電波について

- 1) 送・受信機とも床面や金属面からできるだけ離して使用してください。金属面に近いと電波が飛ばない、受信しないなどの症状が出る場合があります。
- 2) 電波の飛距離は送受信機の設置環境により異なります。安定して受信しないときは設置場所を移動するなどして受信しやすいところに受信機を設置してください。また、アンテナを伸ばし、向きを調整してください。
- 3) 鉄筋コンクリートの建物内、鉄製ドア、金属製シャッター、金属格子、スチール家具などで囲まれている場所では極端に電波の飛距離が低下します。

12. 保証規定 保証期間は購入後1年間です。

- 本商品には保証書はついておりません。お買い求めになった店舗のレシートの写しを保証書に代えて、この取扱説明書と共に大切に保管してください。故障による無償保証を行う時は、レシートの写しを添えて当社のお客相談室にご連絡ください。
- 本商品を購入後1年以内に発生した故障、不具合の場合は下記の無償保証規定に従って無償で修理又は交換いたします。故障の原因を明確にして当社までご連絡ください。

無償保証規定

- 1) 取扱説明書及び本商品の注意書きに従った正常な使用で、保証期間内に故障した場合、無償修理又は交換いたします。
- 2) 故障の場合はご購入の販売店ではなく、直接、当社のお客相談室に電話・FAX・メールなどでご連絡ください。
- 3) 無償保証に該当する故障の場合は往復の送料は弊社が負担いたします。

有償修理

レシートの写しの提示がなく、ご購入日が明確でない場合及び、保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。

- a) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
- b) お買い上げ後の落下、取付場所の移動、輸送、不適当保存時の故障及び損傷。
- c) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他の天災地変、公害や定価格以上の静電気などの異常電圧その他の防衛できない外部要因による故障。
- d) 一般家庭以外(例えば業務用の繁雑、長期連続使用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
- e) 無償修理交換以外の運送費、諸掛費用はお客様のご負担となります。

付属品

- X90 [両面テープ×3枚、取付ネジ×2本、樹脂リブ×2個、ACアダプター×1台]
- X800 [IDコードドライバー×1本、木ネジ×3本、IDコード切替説明書×1枚]

製品のお問い合わせ先

リーベックス株式会社

〒333-0801 埼玉県川口市東川口3-10-5
 TEL: 048-294-4945 FAX: 048-294-4948
 時間: 月~金 9:00~12:00 / 13:00~17:30
 土、日、祝日はお休みです
<http://www.revex.jp>